

平成 29 年度

視察等の届出・報告書

(届出番号 7~9)

平成 29 年度 視察等の届出・報告書 (7~9)


届出 番号	訪問日	氏名	参加者	訪問先・内容
7	7月31日 ~8月1日	小田康文	大月説子・庄司史郎・ 竹原茂三・谷本彰良	東京都・(株)地方議会総合研究所(質 問力向上セミナー)、加藤大臣への陳情



様式第1号

平成29年 7月13日

真庭市議会  
議長 長尾 修 殿

真庭市議会議員 小田康文  印

調査研究、研修会、要請・陳情活動届

政務活動費を使用して、下記のとおり研究、調査等を行いますので届けます。

記

- |   |              |   |
|---|--------------|---|
| 1 | 区 分          | 調査研究 研修会 要請・陳情活動  |
| 2 | 訪 問 先        | 7月31日 アットビジネスセンター池袋駅前別館「606号室」<br>8月1日 内閣府、参議院議員会館<br><u>東京都豊島区東池袋 1-6-4 伊藤ビル 6階</u><br>東京都千代田区永田町 1-6-1、東京都千代田区永田町 2-1-1                 |
| 3 | 内 容          | (株)地方議会総合研究所主催セミナーへに参加<br><u>加藤勝信国務大臣、阿部、石井参議院議員へ陳情</u><br>テーマ：質問力でになう「政策議会」～一般質問の機能を発揮させる～を受講する<br><u>岡山道、米子道の4車線化の促進と備中川の浚渫の促進を陳情する</u> |
| 4 | 行 程          | 別紙のとおり  |
| 5 | 事務局から訪問先への依頼 | 必要 ・ 不要   |

(注) 複数の議員で実施する場合、代表者の届けでよいが、参加議員名簿を添付すること。



参加議員名簿

森真会

小田康文、大月説子、庄司史郎、竹原茂三、谷本彰良

出発/到着	日付	時刻	交通機関	フライト番号ほか	出発地 到着地	備考
出発	2017年7月31日	5:30	クルマ		真庭市	落合総合センター駐車場
到着	2017年7月31日	6:30			岡山空港	
出発	2017年7月31日	7:10	ANA	NH652	岡山	
到着	2017年7月31日	8:25	ANA	NH652	羽田	
出発	2017年7月31日	8:41	京浜急行	京急空港線工ポート急行	羽田第二旅客ターミナル	印西牧の原行
到着	2017年7月31日	9:06	京浜急行		品川	
出発	2017年7月31日	9:11	JR	J R 山手線 池袋行 渋谷, 新宿方面	品川	
到着	2017年7月31日	9:39	JR		池袋	
出発	2017年7月31日	10:00		セミナー受講	池袋	アットビジネスセンター池袋駅前別館「606号室」
	2017年7月31日	17:00		セミナー受講		
出発	2017年7月31日	17:32	東京メトロ	丸ノ内線 荻窪行	池袋	
到着	2017年7月31日	17:50	東京メトロ		銀座	銀座C2出口
到着	2017年7月31日	18:00		ホテルグレイスリー銀座	銀座	チェックイン

出発/到着 日付 時刻 交通機関 フライト番号ほか 出発地/到着地 備考

森田会  
**視察州修旅行 2日目**  
 平成29年 8月 1日

出発/到着	日付	時刻	交通機関	フライト番号ほか	出発地/到着地	備考
出発/到着						
出発	2017年8月1日	8:00	徒歩		ホテルグレースリー駅	
到着	2017年8月1日	8:09			JR 新橋駅	
出発	2017年8月1日	10:00		とっとり・おかやま新橋館 視察	JR 新橋駅	
到着	2017年8月1日					
出発	2017年8月1日	13:03		東京メトロ銀座線 渋谷行き	新橋	
到着	2017年8月1日	13:06			溜池山王	9番出口
出発	2017年8月1日	13:06	徒歩		溜池山王	
到着	2017年8月1日	13:15			内閣府	486m
出発	2017年8月1日	13:30		加藤国務大臣に陳情	内閣府	
到着	2017年8月1日	14:00				
出発	2017年8月1日	14:00	徒歩		内閣府	
到着	2017年8月1日	14:15			参議院議員会館	
出発	2017年8月1日	14:15		石井参議院議員に陳情	参議院議員会館	
到着	2017年8月1日	14:30				
出発	2017年8月1日	14:35		阿部参議院議員に陳情	参議院議員会館	
到着	2017年8月1日	15:45		国交省議員との勉強会		
出発	2017年8月1日	20:10	ANA	NH659	羽田	
到着	2017年8月1日	21:30	ANA	NH659	岡山	
出発	2017年8月1日	21:45			岡山空港	
到着	2017年8月1日	22:45			真庭市	落合総合センター駐車場

議長 副議長 局長 GL 係 国 覽




様式第2号

# 報 告 書

平成 29 年 9 月 4 日

真庭市議会議長 長尾 修 殿

報告者 真庭市議会議員 氏名 **小田康文** 

下記のとおり政務活動費を使用して 調査研究・研修会・要請陳情活動をいたしましたので、その結果を報告いたします。

1	日 時	自 平成 29 年 7 月 31 日 (午前・午後) 時 分
		至 平成 29 年 8 月 1 日 (午前・午後) 時 分
2	場 所	7/31 アットビジネスセンター池袋駅前別館 606号 (東京都豊島区東池袋1-6-4 伊藤ビル6F)
		8/1 内閣府、参議院議員会館 (東京都千代田区永田町1-6-1、永田町2-1-1)
3	用 件	7/31 (株)地方議会総合研究所主催セミナーに参加 (テーマ: 質問力で担う「政策議会」～一般質問の機能を発揮させる～)
		8/1 加藤勝信国務大臣、安部・石井参議院議員へ陳情 (岡山道、米子道の4車線化の促進と備中川の浚渫の促進を陳情)
4	概 要	別紙のとおり



# 森真会研修報告書

平成29年7月31日～8月1日

参加者 小田康文 大月説子 庄司史郎 竹原茂三 谷本彰良

7月31日

地方議会総合研究所主催の土山希美枝氏（龍谷大学教授）「政策議会」と市民参加～議会改革の「めざす」ところをとらえる。質問力で担う「政策議会」～一般質問の機能を発揮させる。と題しての講義を10:00時～17:30分まで参加する。

ワークショップ形式での議会報告を推奨されたが、面白いとは思いますが準備が大変な気がする。来られた人全員に書いてもらいそれを各分野に分けて話し合いをする。面白いし一方的な話し合いにならないとは思いますが進め方が大変ではないかと思われる。

議員が一般質問をし、それが条例等になったら議会だよりなどで報告すべきである。

このことは真庭市議会において絶対にすべきである。真庭市になってから議員の一般質問から数多くの条例が制定されている。それは執行部が制定したものであって議会から提案されたものとは市民の皆様は思っていない。例えば保育料区分の見直し、出前講座、任期付き職員、公共交通まにわくん、水源の里への参加等々多くある。

これらを議会として発信すべきである。

8月1日

午前中新橋にある岡山・鳥取アンテナショップ

13:30分加藤勝信一億総活躍大臣と面談。旭川及びその支流の浚渫について会談する。



14:00時から石井正弘参議員と同上のことで面会会談をする。

15:00時阿部俊子衆議員と同上のことで面会会談をする。

事務所に国土交通省水管理・国土保全局治水課、課長補・佐上野豊氏、同じく流域調査係・葛西曜陸両氏をお呼びしてくれていて約1時間会談をする。

その中で特に留意すべきことは、シュミレーション創りである。これは真庭市独自ででき



るのか県と共同しないとできないのか今後の課題である。このシュミレーションをもって要望活動をするとう国の動きが速くなるとのことである。






平成30年3月30日

真庭市議会議長

長尾修様

真庭市市議会議員 庄司史郎 

### 研修報告書

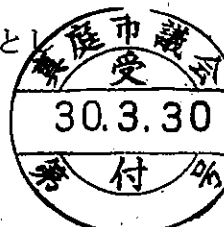
地方議会総合研究所主催の「自治体の政策を考え質問力を向上させる in 東京」研修会に参加しましたので、その概要について下記のとおり報告いたします。

#### 記

- 1、日時 平成29年7月31日(月)～8月1日(火)
- 2、場所 東京都：アットビジネスセンター池袋駅前別館
- 3、参加者 小田康文、大月説子、谷本彰良、庄司史郎、竹原茂三
- 4、研修内容
  - 地方議会総合研究所主催の「自治体の政策を考え質問力を向上させる in 東京」の研修において、龍谷大学教授土山希美枝氏の「質問力でいなる政策議会」に参加し研修した。
  - 自治体の役割＝市民に必要不可欠な政策・制度を整備する。
  - 自治体のとらえ方(政策→施策→事業)
  - これらは大きな枠でいずれも政策ととらえることができる。
  - 「必要不可欠の政策・制度の整備」…以上の事＝税金の無駄使い(必要以上の行政サービス)
  - 以下の事＝権力の乱用(必要な行政サービスをしない)

#### [議会]

市民から何を信じて託されるのか。  
必要不可欠な政策・制度を整備すること、より「よい」政策・制度と



ていくこと。

「政策議会」＝自治体の政策・制度が「市民にとってよりよいものである」ために制御する、政策主体のとしての議会

#### 一般質問の機能

監査機能＝自治体運営や事業の執行について、執行機関がなすべきことを適切になしているかをチェックする機能。

政策提案機能＝政策について、効果の検証や手法の評価・提案、とりあげられるべき政策課題などを提起する機能。

#### 機能する一般質問のために

##### 【論点整理】

##### ○質問内容と目的の設定

- ・事実と意見（意見はさらに分析と主張）に分けて整理
- ・事実には本来賛否はなく、執行部とも共有しうる
- ・論点は「事実—分析—主張」で構成される
- ・取り上げる論点の背景にある問題意識を説明しているか。
- ・政策は、事業・施策のパッケージで構成されている。どんな問題が、どの事業によって起こっているかを具体化する。

##### ○論点を選択し、論点メモをつくる

○質問は監査機能を持った「監査質問」なのか、政策提案機能をもった「政策提案質問」なのかを意識する。

##### 【情報収集】

##### ○現場で聞くこと

- ・市民の「困りごと」の現場
- ・その対策を担っている執行機関の現場

##### ○専門情報

専門書・論文、自治体・国等公共機関の統計情報、新聞、メディアニュース

#### 残念な質問

- ・公表数字を確認するだけの質問
- ・論点を入れすぎてぼけてしまって質問
- ・一般質問としては個別的すぎる質問
- ・合理的根拠や論拠のない批判
- ・国や県の政策や事業で自治体に関知できない事柄の質問
- ・自身の政治信条や演説に終始している質問

まとめ

議員の質問力は総合的な政策形成力であり、議員の政治家としての活動と知見の集約である。このことを議会の政策資源として活かしていくことが大事であり、そのために議員一人ひとりが日々研鑽していくことが求められている。

8月1日(火)

午前中岡山・鳥取アンテナショップを視察

13:30 加藤勝信一億総活躍大臣と面談

14:00 石井正弘参議院議員と面談

旭川、備中川の河川浚渫等の問題について話し合い

15:00 阿部俊子衆議院議員と面談

国土交通省水管理・国土保全局治水課 課長補佐 佐上野豊氏、同じく流域調査係・葛西氏を交えて、河川の管理・整備について話し合い

以上

## 平成 29 年度 視察等の届出・報告書 (7~9)


届出 番号	訪問日	氏名	参加者	訪問先・内容
8	7月20日	小田康文	大月説子・庄司史郎・ 竹原茂三・谷本彰良	和気町（「エスペランスわけ」におけ る老人保健施設と学童保育）



様式第1号

平成29年 7月18日

真庭市議会  
議長 長尾 修 殿

真庭市議会議員 小田康文  印

調査研究、研修会、要請・陳情活動届

政務活動費を使用して、下記のとおり研究、調査等を行いますので届けます。

記

1 区 分 調査研究 研修会 要請・陳情活動

2 訪 問 先 7月20日 老人保健施設 エスペランスわけ

岡山県和気郡和気町和気265

3 内 容 老人保健施設利用者のケアと学童保育を同一箇所を実施している先進施設である同所を訪問し、聞き取り調査を実施する

4 行 程 別紙のとおり

5 事務局から訪問先への依頼 必要 ・ 不要

(注) 複数の議員で実施する場合、代表者の届けでよいが、参加議員名簿を添付すること。



参加議員名簿

森真会

小田康文、大月説子、庄司史郎、竹原茂三、谷本彰良







# 報 告 書

平成 29 年 9 月 5 日

真庭市議会議長 長尾 修 殿

報告者 真庭市議会議員 氏名 小田 康文  
竹原 茂三  
庄司 史郎  
谷本 彰良  
大月 説子



下記のとおり政務活動費を使用して 調査研究・研修会・要請陳情活動をいたしましたので、その結果を報告いたします。

1	日 時	自 平成 29 年 7 月 20 日 (午前・午後) 10 時 30 分 至 平成 29 年 7 月 20 日 (午前・午後) 11 時 45 分
2	場 所	和気町和気266-1 老人保健施設エスペランスわけ敷地内 小規模多機能型居宅介護「和が家」
3	用 件	小規模多機能型居宅介護事業所内を放課後児童クラブに開放して、高齢者と学童が同時に過ごしている施設を視察することで、その効果を参考にし、真庭市の今後の取り組みに活かす。
		「エスペランス和気 放課後児童クラブの運営視察報告」 大月 説子
1. 視察内容		老人保健施設エスペランスわけ敷地内には、北川病院を中心に、グループホーム2ユニット、小規模多機能型居宅介護事業所「和が家」が有る。小規模多機能型居宅介護事業所は、登録26名、デイサービス利用者18名/日、宿泊9名



である。入口は別々であるが、グループホームの職員と小規模多機能型居宅介護事業所の職員は、利用者の人数に応じて流動的に勤務する仕組みになっている。また、指揮内に医療施設北川病院（124床）があり、連携が可能になっている。当法人は、地域貢献と職員の福利厚生を目的で、小規模多機能型居宅介護事業所の一部を、放課後児童クラブに無料提供している。（写真参照）

放課後児童クラブの運営は保護者であるが、フロア内には高齢者と学童と一緒に過ごしている。放課後児童クラブは、登録制であるが、長期の休みには大勢の児童が来られる。児童のお世話係は2名体制であるが、フロア内には高齢者をお世話している介護福祉士が常駐しているため、連携や相談も可能である。法人の堀部副理事長は、学童が多いと老人にとっては疲れることもあるが、老人を労わるなど学童にとっては良い効果が有ると言う。利用料は3000円（平常）～5000円（夏休みなど）と格安。おやつ、お弁当は持参する。放課後児童クラブの世話人は、当法人の職員がしている。法人の職員は、300人程度で、無料託児所、放課後児童クラブを利用して、「子育て支援」の福利厚生にもなっている。地域の学童も利用でき、小学校からスクールバスで帰ってきたら指導員がバス停まで迎えに行く仕組みになっている。

近くには廃校になった小学校が有り、環太平洋大学が使用することになっており、教員志望の生徒が、近隣の小学生に宿題指導を行うことも予定している。施設の掃除は、近隣にある障害者施設（主に精神薄弱者）の利用者が行っている。さらに、カフェつむぎというサロンを2回／月、10時～15時まで行い（個人負担金500円）、北川病院の職員が運動の指導や栄養指導を行うことも有る。将来的には、毎週開催できるようにしていく予定である。（写真参照）当法人は、医療・福祉、障害者・学童を対象にした取り組みを一体的に行い、地域に根差した活動を行っている。多職種の離職率は低く、むしろ超急性期病院から転職する人も有り、職員確保には困っていない。

## 2. 真庭市にどう活かせるか

真庭市では、社会福祉法人が運営している放課後児童クラブが3か所所有。放課後児童クラブの運営を安定的なものにするためには、保護者のみではなく、上記の施設のように高齢者の社会福祉施設と同時運営が一つの方法かと考え視察に行った。同時運営を目指すためには、法人内のみならず、地域を巻き込んだマネジメントができる人材が必要でありハードルは高い。さらに、指導員の確保定着も課題であり、法人のバックアップが有るとむしろハードルが低くなるのではないかと考える。

近年、子供の貧困や低栄養が問題となっているため、今後放課後児童クラブの数のみならず、その質の充実が益々求められる。そのためには、保護者を中心にしてどのような組織作りをすれば質が担保され、長きにわたって組織運営が継続できるのか検討を重ねることが重要と考える。「保育園に預けている間は安心して働けるけど、子供が小学校になると放課後が心配になる。まだおばあちゃんも働いているし困るんです。」と言う切実な声を聞く。

## 老人保健施設「エスペランスわけ」を訪問して

森真会 小田康文

「エスペランスわけ」は医療法人紀典会を母体とする北川病院に近接する老人保健施設であり、グループホーム、総合ケアセンター、訪問看護ステーション、ヘルパーステーションケアプランサービスわけ、居宅介護支援事業所、小規模多機能型居宅介護施設を擁している。

元々北川病院に勤務する職員の子ども達を預かる保育所を開設していたという経緯もあり、施設の一部（共用スペース）を放課後児童クラブを運営する組織（保護者運営）に無料で開放している。

### 感想

#### 1) 施設利用する高齢者と子ども達の関係、影響について

当初、私の安易な考えでは高齢者が活発な子ども達と触れ合うことでやりがいや生きがいを見い出すことにより、認知症の進行を遅らせるような効果がある。或いは表情に明るさが戻ってくる等の効果があるのではないかと考えていた。しかし、医学的な見地からすると認知症の進行を遅らせる効果があるかどうかを測定しようが無いことから、その効果は不明であること。

また、一部の高齢者には活発で元気な子ども達と同一空間に居ることが苦手でイライラして怒ってしまう方が居ると言うことであつた。

当初の思い込みとは全く正反対の説明に少々驚かされた。

しかし、子ども達には良い影響があるという説明があつたことが幸いであつた。家庭では核家族化が進み子ども達が高齢者と接する機会が減少していく環境において、施設では認知症の人や動きの遅い人、感情の起伏が大きい人やそうでない人など様々な様子的高齢者がいるのが当たり前である環境が、自然に子ども達の情操教育になっていると感じられるという説明であつた。これはとても大事なことで子ども達が高齢者を大切にすることや、

多種多様な人達で構成される社会の中で育っていくためにとても役立っていると感じられた。

#### 2) 真庭市内において同様な施設が設置可能かどうか

「エスペランスわけ」のケースは稀であると感じた。その理由は元々老人保健施設に隣接して北川病院の保育所が設置されていたから違和感なく導

入できたのではないかとと思われること。設置場所が旧和気小学校や和気幼稚園の隣であったことなどによる。また、一番に施設設置者にその気が有るかかどうかという点が一番大きい要素であると考えられ、真庭で実施するのは難しいのでは無いかと思われた。但し「エスペランスわけ」の様子を紹介するなどして実例を知れば検討しうるのではないかとも感じられた。健康福祉部とも協議し実施可能性の研究を継続したい。

< 放課後児童クラブ、事務所と児童遊び場 >



## 「エスペランスわけ」学童保育の視察について

真庭市議会議員 谷本 彰良

医療法人紀典会「北川病院」が核となり、平成5年に介護老人保健施設「エスペランスわけ」、平成8年にグループホーム「アネシス」、平成21年にデイサービスセンター「いつもここから」そして小規模多機能型居宅介護「和が家」を順次開設。一カ所に集約され一体的な運営がなされており、その施設の一角を無償で学童保育に提供、保護者会が運営を行っていました。

施設の北側には児童数が68名の和気小学校があり絶好のロケーションでしたが、平成29年3月をもって和気小学校は廃校となり、学童保育の児童は車での送迎となっています。

学童保育を利用児童は通常15名ですが、長期休暇時は27名の児童が利用とのことであり、2/3の家庭が利用していると思われました。

久世地区の場合は、社会福祉法人「恵神会」が小規模多機能居宅介護「高瀬」を運営しており新規の開設は不可能であるが、1つの学区内にサテライトを2カ所迄の設置可能である。

「高瀬」は遷喬小学校より約2km離れており場所的に不向と思われる。サテライト設置となると、誰が運営をするのか、場所をどう確保するのか。そして残りの1カ所を、草加部、目木、予野、檜邑のどこに設置するのかと難しい判断が必要になり、久世地区での小規模多機能型居宅介護施設に学童保育施設の併設は、非常にハードルが高いように感じました。

＜高齢者と子供達が交流している様子＞（ホームページより）



平成 29 年度 視察等の届出・報告書 (7~9)


届出 番号	訪問日	氏名	参加者	訪問先・内容
9	8月22日 ~23日	初本勝	氏平篤正・河部辰夫・ 築澤敏夫	熊本市・地方議員研究会（地方議会セミ ナー）、熊本地震災害状況



様式第1号

平成29年8月7日

真庭市議会  
議長 長尾 修 殿

真庭市議会議員 初本 勝 

調査研究、研修会、要請・陳情活動届

政務活動費を使用して、下記のとおり研究、調査等を行いますので届けます。

記

1 区 分 調査研究 研修会 要請・陳情活動

2 訪 問 先

熊本市 地球学研究会センター

3 内 容

学会活性化について

4 行 程

別紙のとおり 8/22-23

5 事務局から訪問先への依頼

必要

不要

(注) 複数の議員で実施する場合、代表者の届けでよいが、参加議員名簿を添付すること。



調査研究／研修会 計画書

期日／会場 平成29年8月22日(火)～23日(水)

行先 地方議員研究会 熊本会場 (06-7878-6297)

議会活性化について研修会～熊本地震災害状況視察

参加者 初本 勝 築沢 敏夫  
氏平 篤正 河部 辰夫

日程 8/22日 5:30分 久世本庁舎～(餵腫)～ 山駅(6:51分) みずほ～熊本(9:04分)  
10時～から研修会参加  
8/23日 熊本城、現状視察 (レンタカー)  
熊本駅(12時08分)～(14時57分) 岡山駅 ～岡山道～真庭市17:30分着  
(12:57分)～(15:32分)



議長

副議長

局長

GL

係

回覧



No.

様式第2号

## 報告書

平成29年8月28日

報告者 真庭市議会議員 氏名 氏平 篤正



(同行:河部辰夫、初本勝、築澤敏夫)

下記のとおり政務活動費を利用して、調査研究・研修会・要請活動をいたしましたので、その結果を報告いたします。

1日 時

自 平成29年8月22日 (午前・午後) 5時～  
至 平成29年8月23日 (午前・午後) 5時

2場 所

熊本県熊本市及び天草市

3要 件

- ① 地方議員研修会 (あるべき地方議会改革とは) 出席
- ② くまモンの地域活性化活動の調査研究
- ③ 熊本城の地震災害復興の調査研究
- ④ 天草市における観光の取り組みの調査研究

4概 要

- ① 埼玉県庁職員として17年で10部署の職歴を持つ城西大学経営学部マネージメント総合学科の伊関友伸教授の講義を2時間30分聞いた。地域医療を中心に全国を回り、自治体の良い例、悪い例を見たことを話題とし、役人がやっていることは昔の前例どおりであり時代遅れ、地方議員がしっかりしている所が生き残っていると。議会改革には不快感がついて回る。昔あった官官接待のように1億円使っても100億円の補助金を取って来たらいいだろう!とビール券を配っていた時代があった。今から考えるととんでもない話だ。とんでもない話のように議会改革を続けていかないと何も変わらない



い。日本にとって現在は、明治維新、第二次世界大戦以来の変革の時代だ。今までの組織のしがらみにとらわれず、新しい発想と行動原理で行動していくことが重要である。地方議員が頑張る時である。

- ② 街のど真ん中、百貨店の一角にあるくまモンスクエアを訪ね、くまモンのパブリシティと経済効果について自分の目で確認した。素晴らしい。くまモンの中に女性が入っているかどうか？くまモンは何匹いるのか？教えてもらえなかった。くまモンスクエアでは午前11時と午後3時にくまモンのステージショーがある。ここだけでなく、ちょっとした所にはくまモンと記念写真が撮れるくまモン人形があり、くまモンのグッズ売り場がある。日本国民みんなくまモンを知っていることと思う。まにぞうは何もしないで「投票してください」だけを連呼していたのでは真庭市民はうんざりだ。熊本県営業部長室を訪ね勉強してみるとよい。
- ③ テレビでは何度も見ていたが、実際に災害現場を見るとショックであった。熊本市観光ガイドブック熊本城に「今だから見に来て欲しい!!」とあった。熊本県民の願いである国の重要文化財熊本城を20年かかろうと30年かかろうと復元して欲しいと願う。市内の街並みはほとんどが復興していたが、建物自体を壊し更地になっている所、ブルーシートを張って壊している所、災害の恐ろしさを目の当たりにして思う、岡山は災害が無くていいなあ、安心安全のまちづくり、準備だけはしておこう。
- ④ 熊本市から2時間ばかり車を走らせて天草市の観光への取り組みを勉強した。天草五橋、海、青空、天草四郎、道の駅、海の駅の連携である。ホテルの従業員、タクシーの運転手に歓迎という「おもてなし」があることを強く感じた。何もないという危機感から漁師の町の皆が、仲間であり、家族であり、助け合っている。湯原温泉も勝山ももっと頑張れ！ふるさとを自慢しろ！と伝えたい。

①



地方議員研究会の会場。TKPがデジ派。  
左・初本、中・筆沢、右・河部、カノ氏等。

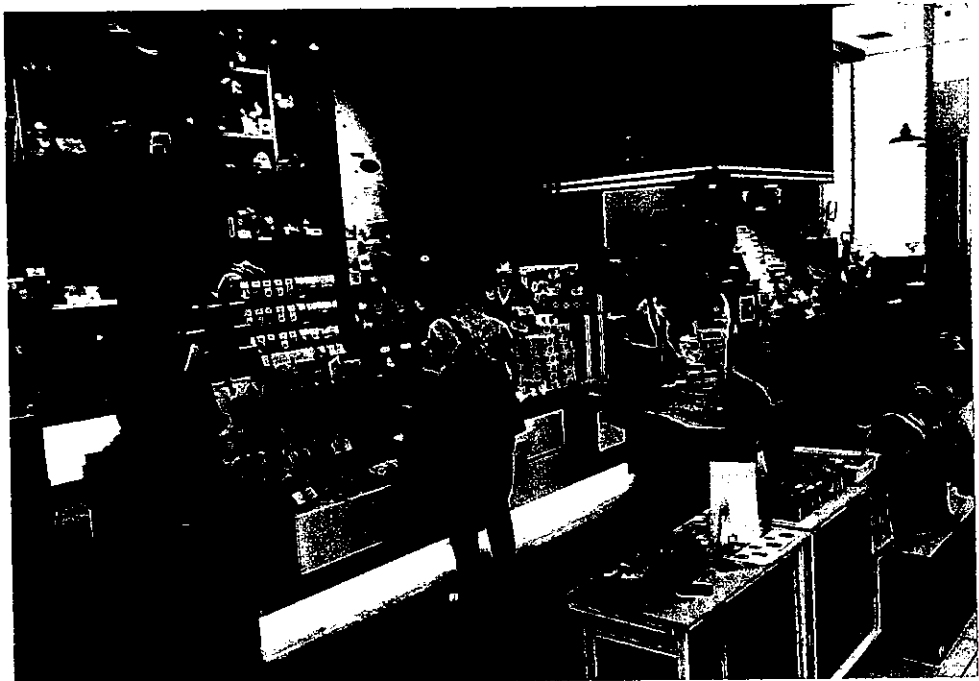


城西大学教授 伊関友伸氏  
「自治体文化」と題して、役所の悪口をいっけい言った。

(2)



くまモンスクエアの玄関口、街の中心にある。



グッズ売場、ステージの学業部長室もある、  
大きなテレビ画面でくまモンの活動を流していた。

(2)



別の所に居子くまを、麦わら帽子  
をかき、いる。以ん所に登壇する。

③



天守閣は足場(註)に囲まれ、入れずから、



加茂神社から見た熊本城

3



逆光で見えなくなっているが完全にくすんでいる状態。



夕陽の中から見えた一枚、くすんで見えない。

④



海と青空の天草島、おもてなしの心が素晴らしい。



天草四郎の像が、いずく形である。焼酎を主とする  
焼酎物もある。男性説も女性説もある。分らない。